

鎌倉駅＝「杉本寺」--「報国寺」--「旧華頂宮邸」--「広場」--「衣張山」--(広場)
---「大切岸」--「名越切通し」・「まんだら堂やぐら群」----- 鎌倉駅

JR 鎌倉駅東口、10.00 集合、17 名。 鎌倉駅からバスで約 10 分、杉本観音で下車。最初に訪れたのは「杉本寺」。創建 734 年(天平6)というだけあって、石段などもすり減っていて(?) 少々歩きにくい。苔むした本堂正面の石段はさすがに鎌倉最古の寺の雰囲気充分(石段は歩行禁止)。茅葺の仁王門、茅葺、寄棟造の本堂も古を偲ばせる。

杉本寺を出て、滑川沿いに報国寺へ。途中川の中に大きな鯉がたくさん泳いでいてしばし足を止めて眺める。「報国寺」はきれいに整備された寺で多くの方が訪れていました。報国寺からは緩やかな登りをしばらく行くと「旧華頂宮邸」。広い庭園は、春になればバラの花と緑の芝生で奇麗に彩られると思われるが、この時期は今一。建物内は、春と秋 2 回公開し沢山の人が訪れるとの事で、外観はなかなかの風情有りました。(写真参照)

旧華頂宮邸からしばらく歩くと急に道が細くなり、少々歩きにくい山道となりましたが、すぐ広々とした所に出て昼休みを予定の「広場」に到着。ベンチで楽しく賑やかな昼食。昼食後、希望者のみ往復 30 分の衣張山往復。「衣張山」は標高約 120m と低山ながら見晴らし抜群(別日撮影の写真添付)だが、この日は好天にも関わらず期待した伊豆半島から富士山、丹沢の連山等かすんで見えず。それでも七里ガ浜や江の島はよく見えました。

全員合流後はしばらく山道を歩き「大切岸」へ。ここは昔の石切り場(鎌倉防壁説も有)で高さ 4m から 10m の崖が 800 メートルほど続いています。(記念の集合写真撮影)

大切岸から今回の最終目的地となる、“鎌倉七口”の一つで国指定史跡「名越切通し」へ。ここは鎌倉と三浦半島とを結ぶ陸路として山を切り開いて造られたもので、第一切通しは崖の高さ 10m、幅 1m 以下と乗馬武士通過不可な程の隘路。至近場所に「まんだら堂やぐら群」があり、普段は閉鎖されているが今日は公開日で入ってみる。“やぐら”とは、崖に四角の横穴を何段も掘り内部に石塔を建てるなどした納骨・供養施設で、150 箇所以上の穴のあるやぐら群で見事なものでした。奇妙な荘厳さの雰囲気圧倒され、しばし佇む。

名越切通しの歩きにくい坂道から、鎌倉の街中へ。途中バス停もあったが全員健脚にて、鎌倉駅へ。(30 分?) 鎌倉駅着は 3 時少し前で、ほぼ予定通りでした。14,000 歩。有志による恒例の懇親会は駅前の“サイゼリア”で、楽しくまた大いに盛り上がりました。参加 17 名は過去最多ながら無事終了。皆さんの御協力に感謝します。(川崎支部 川島)

【参加者】

(東京化学材料支部)	重田 (42S)	林 (42C)	西川 (42C)	
(横浜支部)	松島 (31E)	望月 (35C)	木村 (37E)	鈴木 (38W)
	保坂 (39M)	石島 (41M)	植竹 (44TM)	草場 (修 45E)
	田代 (46C)	篠原 (修 48M)		
(厚木支部)	奥野 (36C)	関根 (38C)		
(平塚支部)	倉林 (44C)			
(川崎支部)	川島 (38C)			

【写真提供】草場 12、川島 1



群大工楽会 神奈川連合支部 鎌倉ハイキング 2016.3.5

集合写真 (まんだら堂)



杉本寺①



杉本寺②



報国寺



旧華頂宮邸①



旧華頂宮邸②



旧華頂宮邸③



昼食 (広場)



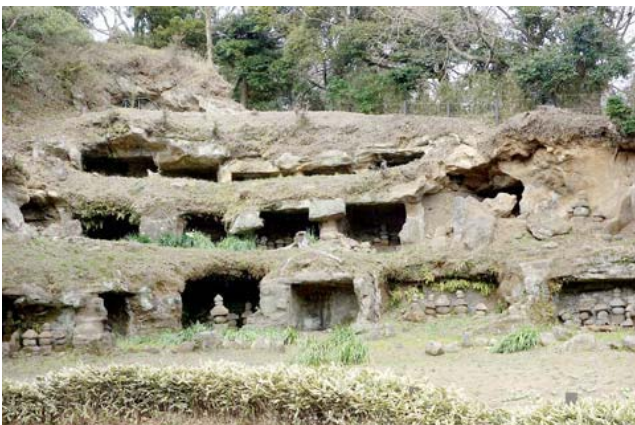
衣張山



大切岸



(別の日の衣張山)



まんだら堂やぐら群



切通し